

2021-22年度の各委員会の方針

1) クラブ奉仕委員会	委員長	北村公一
①職業分類・会員選考委員会	委員長	松尾宗好
②ロータリー情報・研修委員会	委員長	矢野昭
③会員増強委員会	委員長	松山辰男
④親睦委員会	委員長	田畑榮彦
④-1 唱歌委員会	委員長	谷野桂子
⑤雑誌・広報・会報委員会	委員長	澤木政光
⑤-1 プログラム委員会	委員長	志水清紀
⑤-2 HP	委員長	宮田幹二
2) 職業奉仕委員会	委員長	眞下節
3) 社会奉仕委員会	委員長	武枝敏之
①留学生支援委員会	委員長	宮田幹二
4) 国際奉仕委員会	委員長	小寺潤一
①カウンセラー	担当	森本博明 都井正剛 岩本洋子 小川佳伸 北村公一 眞下節一 武枝敏之 小寺潤一 吉川秀樹
5) 青少年奉仕委員会	委員長	吉川秀樹
①教育問題検討委員会	委員長	畑田耕一
6) ロータリー財団委員会	委員長	岩本洋子
7) 米山奨学委員会	委員長	原和永
8) クラブ史編集委員会	委員長	木村正治
9) 未来計画委員会	委員長	岩本洋子
10) SAA		米田眞

1) クラブ奉仕委員会

委員長 北村 公一

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症は一時小康をえていたが2021年になってふたたび感染が拡大し、4月より3度目の緊急事態宣言が発令されました。それにより通常例会の休会や種々の活動も中止せざるを得ない状況が続いています(2021年6月現在)。

感染症収束に向けてワクチン接種がはじまりましたが変異株の新たな出現等、今後このコロナ禍がどのように収束してゆくのか行く先はまだまだ不明です。幸いにも収束したとしてもこの1年の社会の変わり様をみても、ポストコロナの社会は多方面にわたり大きく変わってゆくものと推測されます。そのようななかでロータリークラブはどのような役割をはたせばよいのか。

今年度の活動をはじめにあたりクラブ奉仕フォーラムでは「ポストコロナ社会とロータリー活動について(仮題)」の表題でロータリーの運営、例会の在り方、会員研修、会員増強等について会員諸氏から意見を求め、さらに今後、パンデミックを含め緊急災害時のロータリー活動についての取決めを提言してゆく予定です。

① 職業分類・会員選考委員会

委員長 松尾 宗好

このコロナ禍にあっては、会員増強は大変難しいものとなりますが、推薦があり次第、会員増強委員会と連絡を密にとり、速やかに会員選考委員会を開催し、適切な判断をしたいと思っております。職業分類に関しましては未充填数を減らし、多種多様な職業の方にご入会していただけるようにしたいと思います。

② ロータリー情報・研修委員会

委員長 矢野 昭

当委員会では、“新入会研修ハンドブック”をテキストにし、新入会員の研修を行い、当クラブに少しでも早く溶け込めるように努力していきたく思います。

R情報・研修委員会に皆様のご協力を宜しくお願い致します。

③ 会員増強委員会

委員長 松山 辰男

ロータリークラブの最重点課題は会員増強であり、次年度に向けた地区会員増強セミナーが、コロナ禍の緊急事態宣言下、オンライン開催され、吉川秀隆ガバナーの退会防止、会員拡大、女性会員増の決意表明があった。定款改正により、入会しやすい新たな制度改革などの提案もあるが、安易な入会は安易な退会を招きやすい。単なる数合わせではなく、会員基盤の増強を目指すべきであろう。コロナ禍が去れば、通常例会の復活、魅力あるロータリークラブ活動を取り戻して、個々の会員固有のチャネルを生かした会員増を諮りたい。

④ 親睦委員会

委員長 田畑 榮彦

親睦委員会といたしましては、このコロナ禍で中止になっております親睦活動をどのように再開していくかを模索しております。親睦活動は、一週間に一度の例会時にお会いする以外に会員相互のコミュニケーションの取れる大事な場所と考えます。会員のみならず、日ごろから会員を

支えてくださるご家族との交流もできる非常に大事な行事であると認識しております。親睦活動の内容を考え、今の時代に沿った活動ができるよう親睦委員会の委員の方たちとともに考えていきたいと思ひます。

今年度の親睦委員会への皆様のご協力をお願い致します。

④-1 唱歌委員会

委員長 谷野 桂子

前年度に引き続き、唱歌委員会の活動は中止しておりますが、状況を見て再開できればと考えております。その時はぜひ、ご協力いただきますよう皆様をお願い致します。

⑤ 雑誌・広報・会報委員会

委員長 澤木 政光

雑誌・広報・会報委員会委員長をつとめることとなりました。1995年から1996年に会報委員長を担当したので今回は、26年ぶり2回目ということになります。週報は会員にとってクラブの現況を認識する上でとても大切なメディアであり、クラブ史編集の最重要資料となるものです。週報の編集に当たっては文字並びに記事の内容の正確さに留意し、紙面作りにはこれまでの実績から事務局の松宮様の豊富なアイデアを活用させて頂き、より充実した週報をお届けできるよう努めます。

ロータリーの機関雑誌・地域雑誌の「ロータリーの友」はミリオンセラーにふさわしく、世界的ネットワークを駆使して国内外のロータリー情報とロータリアンの好意と友情を深める記事を満載して私たちに提供してくれます。毎月始めに特筆的な記事を選んで皆様にご紹介いたします。どうぞご愛読下さい。

⑤-1 プログラム委員会

委員長 志水 清紀

本年度のプログラム委員会は例年通りに卓話者予定表を作成していただきました。この作成に関しましては森本会長、米田会員に大変お世話になりました。本年度も皆様の卓話を楽しみにしております。この一年、どうぞ宜しくお願い致します。

⑤-2 HP

委員長 宮田 幹二

現在、週報と行事予定の更新が定期的な活動となっています。事務局との連携を強め、迅速なデータ更新を目指します。

ホームページは、多彩なコンテンツと、そして絶えず新しい情報を載せていくことにその価値があります。地区ホームページとの繋がりを深めるとともに、会員の役に立つ新しい情報を掲載して、皆さまに親しんで頂きたいと思ひます。そのためにも、随時、皆様からの御意見や御投稿をお寄せください。

また、ホームページでは、豊中RCの長い歴史や豊富な奉仕活動などを、見やすく親しみやすく紹介できると思ひられます。ホームページを通して、会員外の皆様にも、豊中RCを親しみ深く感じて頂く機会が生まれるのではないかと期待しています。

2) 職業奉仕委員会

委員長 眞下 節

新型コロナ(COVID-19)感染症のパンデミック流行でロータリークラブの活動・奉仕が思うように進まないもどかしい1年間でした。そのような状況だからこそ、日々の仕事に打ち込むなかで職業奉仕の重要性に改めて気づかされることになりました。岩本前会長も述べておられるように職業奉仕はロータリークラブの神髄であり、それは自身の職業を高める内的発展を目指すこと、自身の職業で社会に奉仕する外的発展を目指すこと、そして他の職業に対して理解と尊重を深めて相互発展を目指すことです。

職業奉仕の3つの発展をテーマに職業奉仕フォーラムを開催することができればと考えています。さらに、新型コロナ感染症が終息して職場見学や出前授業などが復活できることを願っています。

3) 社会奉仕委員会

委員長 武枝 敏之

社会奉仕委員会の活動の年間予定は、①豊中市主催の「社会を明るくする運動」に参加すること。②社会奉仕月間における、卓話及び社会奉仕フォーラムの実施、が主な活動です。本年もそれを実施したいと考えます。

社会奉仕はロータリーの奉仕活動の重要な位置を占めます。社会奉仕活動は、ロータリアンのすべてが、クラブ所在地域内に居住する人々の生活の質を高めるために他の人々と協力して行う取り組みです。

近年の活動を見ると豊中警察署による交通安全の卓話及びフォーラムや豊中市の保護司会による卓話とフォーラムの実施がされました。

当クラブの社会奉仕委員会の活動は、留学生支援も重要な活動です。大阪大学の留学生支援をすることで、研究支援のみならず、日本の生活習慣の理解に対する支援も委員会を中心に行いたいと思っております。

今年一年、社会奉仕委員会に皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

① 留学生支援委員会

委員長 宮田 幹二

豊中RCの留学生支援奨学金は、大阪大学大学院理学研究科と基礎工学研究科の博士後期課程の私費留学生に、3年間を限度として毎月6万円が支給されています。この豊中RC奨学金は、生活支援に加えて、ロータリーの心を通してのロータリアンとの親睦が特徴であり、異文化理解と国際交流のための国際奉仕活動の一つです。

現在の豊中RC奨学生は、Li Jiyaoさん(支給期間:2019年4月から2022年3月までの予定、研究内容:Cluster Analysisを中心とする多変量解析理論)とYugoviandi Primanda Mamahit君(支給期間:2019年10月から2022年9月までの予定、研究:糖蛋白質の生理学的役割)です。

国際奉仕委員会のカウンセラーを中心に親睦を深めています。例会出席(義務として月一回)、例会後の茶話会、卓話(原則、年一回)、春秋のRYLAセミナー、春秋と年度末の家族会、会員の自由企画による各種懇親会(夕食会、茶会、会員宅訪問、バーベキュー、ハイキング、花見など)など、様々な親睦の機会が年間を通して用意されています。

奨学資金(毎月6万円、二人で年間144万円)は、各会員からの普通寄付(年間2万円(四半期毎5千円)、昨年度は計76万円)、RI2660地区補助金(毎年公募、一名一回のみ応募可、年間

奨学金の半額補助、今年度Mamahit君に約30万円)、奉仕会計からの援助(昨年度20万円)、会員からの特別寄付(昨年度24万円)などで賄われています。

留学生への皆様の御支援をお願い致します。

4) 国際奉仕委員会

委員長 小寺 潤一

昨年度よりロータリー奉仕活動がコロナの影響により思うように進まない部分がありますが本年度、国際奉仕委員会は前年度実施予定であったGG2093716 (タイ国バンナサン地区バンナサンホスピタルに対する医療機器の贈呈)の現地調査を世界情勢を見ながら、ぜひとも実施したいと思います。また、昨年度の国際奉仕委員会で、新たにGG2123900(同じくバンナサンホスピタルに対する贈呈)の申請をさせていただいており現時点(2021年6月5日)ではまだ承認に至っておりませんがその調査も併せて行いたいと思います。

国際奉仕活動の現地調査といえば時間も費用負担も掛かりますが、ぜひ一人でも多くのメンバーの参加をお願いしたいと思います。ロータリークラブの素晴らしい一面がご覧いただけるとと思います。

また、参加いただけないメンバーの皆様にも御協力をお願いすると思いますのでよろしくお願い致します。

① カウンセラー

森本 博明、都井 正剛、岩本 洋子、小川 佳伸
北村 公一、眞下 節、武枝 敏之、小寺 潤一、吉川 秀樹

豊中RCの国際奉仕活動の一つとして、豊中RC留学生や米山奨学生との親睦を図り、異文化理解と国際交流を深めます。この活動は、ロータリーの心を通しての、ロータリアンとの親睦が特徴であり、五大奉仕活動と密接に関係します。さらに、有志会員による、個性的な交流活動(茶話会、食事会、会員宅招待、ハイキング、観劇など)を促進し、支援します。

会長、会長エレクト、直前会長は、活動全般を担い、責任者になります。地区補助金申請の署名、問題発生時の地区との連絡などに関与します。

幹事は、有志会員による個性的な交流活動の窓口になり、留学生や会員への広報を担います。

クラブ奉仕委員長は、例会や家族会に関し、出欠席、役割分担、卓話などに関与します。

職業奉仕委員長は、職場見学などを通して、留学生に職場案内などができます。

社会奉仕委員長は、地区の社会奉仕活動と連携し、第2660地区補助金の獲得に努めます。

国際奉仕委員長は、豊中RCや第2660地区の国際奉仕活動との連携を図ります。

青少年奉仕委員長は、秋・春のRYLAへの参加を促します。

5) 青少年奉仕委員会

委員長 吉川 秀樹

都井委員長の後任として、委員長を拝命致しました。昨年度と同様、コロナ禍の影響で、青少年との交流や奉仕活動が制限されることが予想されますが、青少年フォーラムや出前授業を開催できればと考えています。前年度は中止となりましたが、畑田会員のご指導のもと、教育フォーラムも開催したいと思います。前年度、卓話で紹介して頂いた「子供食堂」の活動については、今後も継続的に、何らかのご支援ができればと考えています。

① 教育問題検討委員会

委員長 畑田 耕一

恒例の教育フォーラムは、コロナウイルス感染症が蔓延する現況下では実行が不可能と思われる。豊中市内の小学校や中学校での出前授業については、豊中ロータリークラブはかなり広い分野の授業への対応が可能なので、要望があり次第対応していきたいと思っている。

6) ロータリー財団委員会

委員長 岩本 洋子

豊中ロータリークラブ独自の奉仕財源は、多額とは言えません。むしろ少ないぐらいで、これは他のクラブも同じ状況です。その中で、ロータリー財団のグローバル補助金や2660地区補助金(ロータリー財団からの配分金)を使って、豊中ロータリークラブの特色のある活動のうち、これまで実行してきたこと、これからも継続して実行していくこと、を提唱したいと思います。

①クラブの奉仕支出金45万8172円と地区補助金44万1828円を使って、地元の大阪大学の留学生に奨学金を支給している。

②クラブの奉仕支出金131万3868円にタイ国シーロムロータリークラブとバンナサンロータリークラブの支出金合計113万5197円を加えて、ロータリー財団と地区補助金合計399万6000円を受けることによって、タイのバンナサン病院に644万5065円の医療機器の寄贈ができています。

この①②をクラブの皆様によく理解して頂きます。ロータリー財団の資金を使って、「てこ」の力で多額の奉仕ができます。

今年度のロータリー財団への寄付は一人160ドル(約1万7000円)をお願いします。

是非、ご協力ください。(注記:1ドル108円換算)

7) 米山奨学委員会

委員長 原 和永

本年度、米山奨学委員会としまして、2021年度米山奨学生のスミタさんに10月5日の卓話を行って頂きます。母国のネパールや日本に来て学んだこと、これからの未来について語って頂きます。スミタさんには米山奨学生として、定例会だけでなく日本の文化等も体験して頂き、皆様との交流の機会を考えたく思います。

また、米山奨学会への特別寄付も年間一人30,000円をお願い致します。

今はコロナ禍であります。事業を運営されておられる方々も大変な時期だと存じます。米山奨学生を初め、豊中ロータリークラブの奨学生も厳しい環境の中で学ばれております。このような時こそ、我々ロータリアンが力を合やす事が大切なことだと思います。

米山奨学生、未来を担う若い方々の為にも、皆様のご協力を心よりお願い致します。

8) クラブ史編集委員会

委員長 木村 正治

2019年11月中国武漢で発生して瞬間に全世界に大流行をきたした新型コロナウイルス感染症は、わが国でも大波小波を繰り返したために、緊急事態宣言での対応を余儀なくされ、クラブ運営にも大支障をきたしている。7月23日よりわが国の一大イベントたるオリンピック開催も予定されているし、また来年3月12日のわがクラブ担当のロータリーデー開催準備も進んでいることから、

国が積極的に取り組むワクチン接種と国民一人一人の三密回避遵守が相俟っての効果が発揮され、すべてが円滑に運営されることを祈っています。

ご協力ご援助をお願いいたします。

9) 未来計画委員会

委員長 岩本 洋子

高額な年会費を毎年、毎年、負担しながら、ロータリアンがクラブに何を求めるのか、クラブが何をできるのか、クラブとして何をすべきなのか、「未来計画」というイメージで、そんなことを考えています。

豊中ロータリークラブが2660地区との「良好」な関係を持ち、しかも地区に80クラブ近くがある中で「優良」なクラブでありたい、とも思います。

- ・ IM1組のロータリーデーを成功させる(令和4年3月12日)
 - ・ 2660地区に良い人材を提供する(ガバナー補佐の推薦)
 - ・ ロータリー全体の公共イメージ向上のために知恵を使う(豊中市や社協による広報の利用)
 - ・ 有益な情報を豊中ロータリークラブから発信する(ホームページの活用)
- このように考えると「未来計画」は案外、身近にあるのかもしれないと思います。

10) SAA

米田 眞

コロナ禍の例会のため一応前年同様の例会運営を行う予定にしております。しかし会食を伴う例会はクラスターの原因になる可能性がありますので例会進行を考える必要があるかもしれません。会長と相談の上スムーズな例会運営を行いたいと思います。

Ⅵ 付 表

2021～2022年度 予 算 表

豊中ロータリークラブ 一般会計予算

(単位:円)

収 入	
前年度繰越金	2,197,637
収 入	13,867,925
計	16,065,562
支 出	
分担金・運営管理費	12,765,300
奉仕活動助成金	700,000
周年記念事業積立金	200,000
事務局慰労積立金	100,000
留学生基金	740,000
予備費	1,560,262
計	16,065,562

豊中ロータリークラブ 奉仕会計予算

(単位:円)

収 入	
前年度繰越金	2,481,633
一般会計より受入金	700,000
留学生基金から受入金	740,000
ニコニコ箱寄付金	2,500,000
計	6,421,633
支 出	
奉仕部門	3,764,000
S A A 費	450,000
留学生基金積立金	300,000
特別事業準備積立金	100,000
予備費	1,807,633
計	6,421,633

※別に

特別事業準備積立金	4,116,670
周年記念行事積立金	1,525,464
事務局慰労積立金	1,036,223
留学生基金	807,695
地区補助金	0

(2021.6.30 現在)

2021～22年度 一般会計予算

(単位:円)

(収入)

前年度繰越金	2,197,637	
通常会費	11,100,000	
来客登録料	36,000	
入会金	400,000	
雑収入	2,331,925	
収入合計	16,065,562	

(支出)

RI及び地区分担金	3,071,108	
人頭分担金	298,023	70ドル/人
地区運営及び活動資金	703,000	19,000円/人
米山普通寄付	222,000	6,000円/人
地区大会資金	185,000	5,000円/人
地区大会登録料	185,000	5,000円/人
R財団160ドル寄付	680,800	160ドル/人
R財団ポリオ寄付(60ドル)	255,300	60ドル/人
R財団クラブ寄付	63,825	15ドル/人
I M 分担金	185,000	5,000円/人
地区協議会	110,000	会員数30名以上11万円
第1組15RC	64,000	会長・幹事会
ロータリアン誌	116,160	ロータリーの友
ロータリー手帳	3,000	ロータリー手帳1冊600円
会議費	4,159,200	
会合費	400,000	
例会食費	3,759,200	
事務管理費	5,534,992	
リース料	142,992	
人件費	1,140,000	
外注費	2,275,000	
通信費	223,000	
什器備品費	30,000	
消耗品費	300,000	
交際費	200,000	
借室料	984,000	
諸雑費	240,000	
分担金・運営管理費小計	12,765,300	
奉仕活動助成金	700,000	
周年記念行事積立金	200,000	
事務局慰労積立金	100,000	
留学生基金	740,000	
予備費	1,510,262	
支出合計	16,065,562	

2021～22年度 奉仕会計予算

(単位:円)

(収入)

前年度繰越金	2,481,633	2,481,633
一般会計より受入金	700,000	700,000
留学生基金から受入金	740,000	740,000
ニコニコ箱寄付金	2,500,000	2,500,000
受取利息	13	13
収入合計	6,421,646	6,421,646

(支出)

クラブ奉仕部門	1,674,000	
クラブ奉仕委員会	320,000	
職業分類・会員選考委員会	0	
R情報・研修委員会	0	
会員増強委員会	0	
親睦委員会	900,000	
(出席)	80,000	
(唱歌)	314,000	
雑誌・広報・会報委員会	60,000	
職業奉仕部門	150,000	
職業奉仕委員会	150,000	
社会奉仕部門	890,000	
社会奉仕委員会	150,000	
留学生支援	740,000	5,000円×4回×37名
国際奉仕部門	810,000	
国際奉仕委員会	800,000	
(サンマテオ)	10,000	
青少年奉仕部門	190,000	
青少年奉仕委員会	180,000	
(教育問題検討)	10,000	
R財団委員会	40,000	
米山奨学委員会	10,000	
クラブ史編集委員会	0	
奉仕部門小計	3,764,000	
S A A 費	450,000	
留学生基金	300,000	
特別事業準備積立金	100,000	
予備費	1,807,633	
受取利息	13	
支出合計	6,421,646	

2021-22年度の報告

1. 会務			
1) 会長職務	会長代行	北 村 公 一	
2) 幹事職務	幹 事	小 川 佳 伸	
2. 各種委員会			
1) クラブ奉仕委員会	委 員 長	北 村 公 一	
①職業分類・会員選考委員会	委 員 長	松 尾 宗 好	
②R 情報・研修委員会	委 員 長	矢 野 昭	
③会員増強委員会	委 員 長	松 山 辰 男	
④親睦委員会	委 員 長	田 畑 榮 彦	
⑤雑誌・広報・会報委員会	委 員 長	澤 木 政 光	
⑤-1 プログラム委員会	委 員 長	志 水 清 紀	
⑤-2HP 担当	委 員 長	宮 田 幹 二	
2) 職業奉仕委員会	委 員 長	眞 下 節	
3) 社会奉仕委員会	委 員 長	武 枝 敏 之	
留學生支援担当	委 員 長	畑 田 耕 一	
4) 国際奉仕委員会	委 員 長	小 寺 潤 一	
カウンセラー	担 当	小 都 井 正 剛	
		岩 本 洋 子	
		小 川 佳 伸	
		宮 田 幹 二	
		北 村 公 一	
		眞 下 節 之	
		武 枝 敏 之	
		小 寺 潤 一	
		吉 川 秀 樹	
5) 青少年奉仕委員会	委 員 長	吉 川 秀 樹	
教育問題検討委員会	委 員 長	畑 田 耕 一	
6) R 財団委員会	委 員 長	岩 本 洋 子	
7) 米山奨学委員会	委 員 長	原 和 永	
8) クラブ史編集委員会	委 員 長	木 村 正 治	
9) 未来計画委員会	委 員 長	岩 本 洋 子	
10) SAA	委 員 長	米 田 眞	

1. 会務

1) 会長職務

会長代行 北村 公一

年度もあと1か月余りを残すのみとなった令和4年5月23日に会長が急に病をえられましたので以降は副会長が会長を代行しました。会長におかれては養生につとめられて一時期リハビリの予定までされていましたが、6月26日急逝されました。

今年度を振り返りますとコロナの5波、6波の際の緊急事態宣言によりロータリー活動が大幅に制限されました。今期の会長の主な方針は週一回の例会への参加の奨励と風通し良く、楽しく、解りやすく、思いやりのある心温まる充実したロータリー活動を目指すことでした。発足した7月より食事なし例会に始まり、コロナ第5波により8月2日から緊急事態宣言のため例会休会、クラブ奉仕フォーラム中止、新入会員歓迎会が中止となりました。秋にはコロナ禍は一時収束をおもわせたが新年になって第6波が来て1月25日から3月15日までの間、蔓延防止措置のため休会、恒例の教育フォーラムも中止、準備していたロータリーデーも残念ながら中止となりました。しかし休会中も週報の発行、会長の時間の掲載と誌上卓話により会員接触の継続を図られました。会長は5月17日までに34回開催した例会に皆勤、会長の時間にはロータリー研修関係と理事会報告等の情報発信をされました。

クラブ内の諸問題であるクラブ定款、クラブ細則、事務局員就業規則、パート労働者就業規則、例会会場の確保、等の難題に対し問題を先送りすることなく小川佳伸幹事とともに精力的に取り組みました。

ホテル内には2つのロータリークラブと2つのライオンズクラブの事務局があり故森本会長が同じ例会会場を使用しているクラブの連携を試みられました。コロナ後の社会の変革を考えると、同じ目的を持った者同士が連携してより良い成果を上げることも視野に入れておく必要を感じます。またそこに故森本会長の懐の深さを感じます。

コロナ禍におけるクラブの運営に会員各位のご協力および各委員会活動へのご努力に故森本会長とともに感謝申し上げます。

2) 幹事職務

幹事 小川 佳伸

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い例会の開催を計12回中止せざるを得ませんでした。そのため対面に代わるオンラインでのコミュニケーションを模索しました。Zoomによるクラブ談話室の創設は、その試みの一つです。まだまだクラブ内でも広く認知されているとは言い難い状態ですが、コミュニケーションのツールとして今期だけに終わることなく続けていただきたいと思います。また今年度のクラブ運営の大きな目標は、「ロータリーの原点に戻って風通しの良い、全員参加のクラブの造り」でした。それを実行するために具体的には以下の8つの目標を立て、鋭意実現に向け邁進してきました。

- 1、コロナ禍における新しいコミュニケーションの確立、Zoom談話会、Zoom4役会、インスタグラムの開始、フォトブックの配布

- 2、豊中ロータリークラブの各種規則を見直した。クラブ細則、事務局職員就業規則、パート労働者就業規則
 - 3、例会中止であっても週報を発行し、研修資料として会員に提供する11人の会員に誌上卓話を寄稿していただき会員への研修資料とした。
 - 4、感染状況が許す範囲で会員の親睦を積極的に行う春、秋の家族会、年末家族会、新年互礼会、春、秋の親睦ゴルフコンペなどを感染状況を考慮しながら催行した。
 - 5、こども食堂への寄付 地元業者の作ったレトルトカレー1000食を、豊中市社会福祉協議会を通じて地域のこども食堂に寄付した。
(故)森本会長のご尽力に敬意を表し、ご冥福をお祈りいたします。
 - 6、留学生の支援(奨学金以外での)日本文化により深く親しんでもらうため食事会やハイキングに留学生を積極的に招待した。
 - 7、例会場の変更について細かい取り決めについてホテル側と合意書を交わした。
 - 8、事務局定年後の取り決め定年後も継続雇用することとし、覚書を交わした。
- 以上のことは、概ね実現したものと考えていますが、今後も続け発展させてゆく必要のある項目も含まれます。次年度の会長をはじめ役員の皆様引き続きよろしく願いいたします。
(故)森本会長のご尽力に敬意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

2. 各種委員会

1) クラブ奉仕委員会

委員長 北村 公一

2021年-2022年度は下記の活動を試みましたがコロナ禍のため実施できたのは一部のみにとどまりました。

クラブ奉仕フォーラムを2021年8月10日開催を予定し、卓話「コロナ禍とロータリー活動」(担当：北村公一)のあとクラブ奉仕フォーラムを実施、議題「コロナ禍とロータリー活動」についてクラブ奉仕、職業分類・会員選考、会員増強、親睦、雑誌・広報・会報の各分野の今後の活動を議論する予定であったが緊急事態宣言のため例会休会となり誌上卓話のみに変更となりました。

クラブ奉仕委員会は第一回2021年7月(議題：年間の予定)、第二回2022年1月(議題：活動状況、クラブ奉仕委員会の統合)、第三回 2022年5月(議題:引継ぎ)の3回開催を予定していたが例会休会あるいは日程の都合で開催できず、個別に口頭で意見聴取をおこないました。臨時に第四回を6月に地区からの会員増強のための「会員の種類の多様化について」の意見聴取に対して行い、未定と回答しました。会員増強の目的で高齢者、長期遠隔地出張者等の状況にありクラブ在任希望者の身分の在り方を引き続き検討することとしました。

クラブ細則の見直しと改定についてクラブ奉仕委員会の組織図がクラブ奉仕委員会と傘下の会員選考増強委員会、研修委員会、親睦委員会等の実務委員会との関係を明確にする必要を感じます。そして①会員選考、②会員増強、③R情報・研修の3部門はとくに重要部門につき会長修了者が3年間順次歴任し、継続を図ることを提案しました。

コロナ禍において会員の親睦を図るため、これまでの「トークインさくら」にかわるものとしてZOOM談話室を月1回開催、2022年5月までに9回開催し、概略を週報に掲載しました。

① 職業分類・会員選考委員会

委員長 松尾 宗好

以前より、職業分類のバランスのとれた構成を考えてまいりましたが、コロナ禍ということもあり、委員会としての活動はほとんどできていませんでした。これに関しては、残念で申し訳なく思います。

どのような状況下であっても、会員増強委員会とともに会員増強につながる道を模索する方法を考えていかななくてはいけないと思いました。

② R情報・研修委員会

委員長 矢野 昭

本年度は5名の新入会会員の研修を「ロータリーの心と実践」および北村副会長の資料を使用し研修を行いました。

私自身も初めての経験でしたので、ロータリーの歴史を見直すことができました。

この一年の皆様のご協力に感謝申し上げます。

③ 会員増強委員会

委員長 松山 辰男

2021～22年度は、年間を通して、新型コロナウイルスに翻弄された1年で、例会を始め、ほとんどの奉仕活動、親睦活動もままならず、コロナウイルス対策が考慮されたにもかかわらず、社会全体の活動低下、景況感の悪化と相俟って、転勤による後任以外には、新入会員を迎えることができませんでした。退会防止も、高齢化が進み、たとえ会員満足度が高くても、逆らえない状態です。このところ、会員増強のために、徐々にロータリークラブ入会の敷居が低くされてきましたが、逆にステイタスは低下し、ロータリークラブの魅力がむしろ失われつつあるように感じます。会員基盤の増強こそが、自ずと会員増強につながるのではないかと思います。

④ 親睦委員会

委員長 田畑 榮彦

まず、本年度の親睦委員会としての活動内容をご報告させていただきます。

・親睦受付当番表作成

過去の資料を見させていただき、親睦委員の中から当番を決めさせていただきました。

私も積極的に受付に立つよう、心掛けました。

・新会員歓迎納涼会

コロナ禍のため、中止となりました。

・秋の親睦ゴルフ(2021.9.26)

オリンピックゴルフにて、総勢16名ご参加頂きました。当日はお天気も良く、皆様楽しそうに

ご参加くださいました。因みに優勝者は私でございました。

・ 職場見学と秋の家族会(2021.11.11)

和久傳の森美術館に行きました。お食事は工房レストラン”wakuden MORI”にていただきました。館内には、安野光雅氏によるイギリスの風景画がたくさん展示されており、その優しいタッチに癒されました。お食事も地産地消を取り入れ、近隣のお野菜やお肉を中心に、これも優しいお味でした。

・ 年末家族会(2021.12.18)於:ホテル阪急インターナショナル

親睦委員の方々と準備を進めていきました。受付やくじの販売、荷物の搬入等、委員会一丸となって取り組みました。ゲストに原田真二さんをお招きし、懐かしく楽しいひと時に盛り上がりました。少し費用は嵩みましたが、この計画を実行して本当に良かったと思っています。本当に皆様、楽しそうでした。

・ 春の家族会(2022.4.17)

天橋立に行きました。当日は天気も良くたくさんのご参加になりました。私は仕事の都合で参加できませんでしたが、親睦委員会の皆様により楽しく安全に行われましたことを感謝申し上げます。特に元会員の小牧様には、コロナ禍で何度も中止になったこの計画を実行頂き感謝申し上げます。

・ 春の親睦ゴルフ(2022.5.29)

有馬カントリー倶楽部にて、総勢13名ご参加頂きました。お天気も良く、怪我もなく、楽しくプレーできましたことに感謝いたします。ゴルフ担当の横田会員には大変お世話になりました。2021-22年度の親睦委員会として取り組んだ行事は以上です。最後に、今年度の親睦委員会委員長としての活動が十分にできていなかったと思います。皆様には本当にお世話になりました。心よりお礼申し上げます。

⑤ 雑誌・広報・会報委員会

委員長 澤木 政光

会員にとってクラブの現況を知る上で大切なメディアであり、クラブ史編集の最重要資料となる週報作成に専念いたしました。

国内外のロータリー情報とロータリアンの好意と友情を深める記事を満載した「ロータリーの友」の特筆的な記事を選んで、これを毎月第2週目の例会時に会員に紹介致しました。

26年ぶりに当委員会委員長を務めることになり、年度発足の7.8.9月は順調にその任に当たっておりましたが、9月末に転倒して第2腰椎骨折を来し、10月から本年4月まで治療のために例会出席が叶わず皆様にご迷惑をかけてしまいました。幸い当委員会の方々、事務局の松宮さんのご努力で委員会活動を全うすることができて安心の極みです。

誠にありがとうございました。

⑤ -1 プログラム委員会

委員長 志水 清紀

2021年7月から始まった森本年度では非常事態宣言(令和3年8月2日から9月30日まで)、蔓延防止等重点処置(令和4年1月27日から3月21日まで)により12回の例会の休会を余儀なくされた。唱歌や種々の委員会も中止となったが、その間の卓話に関しては、誌上卓話という形で週報に掲載され会員諸氏の研修資料として提供された。

都井年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況に関しては予断を許さないが、たとえ例会が中止となったとしても誌上卓話を研修資料として活用していただきたいと考えている。

⑤ -2 HP (ホームページ)

HP担当 宮田 幹二、村司 辰朗、都井 正剛

村司会員が週報と行事予定を、事務局と連携し、定期的に、できる限り迅速に更新しました。

小川会員の御努力で、豊中RCのInstagramが導入され、発信を続けています。今までに家族会、留学生との交流会などの写真が掲載されています。ホームページは、多彩なコンテンツと、そして絶えず新しい情報を載せていくことにその価値があります。地区ホームページとの繋がりを深めるとともに、会員の役に立つ新しい情報を掲載していますので、皆さまに親しんで頂きたいと思います。

(文責:HP担当 宮田幹二)

2) 職業奉仕委員会

委員長 眞下 節

昨年度は、COVID-19 感染症パンデミックにおいて会員めいめいが日々の仕事に精一杯取り組むなかで、職業奉仕の意味と重要性に改めて気づかされることが多くあったのではないかと思います。

昨年度の職業奉仕委員会の活動として、まず11月6日に大阪 YMCA 国際文化センターで開催された地区主催のクラブ職業奉仕委員長会議に WEB で参加いたしました。参加させていただきクラブ職業奉仕についての理解を一層深めることができました。

それから1週間もたたない11月11日に、職場見学会と秋の家族会を開催しました。今回の訪問先は、明智光秀ゆかりの丹波福知山城と和久傳の森です。京丹後市で創業して京都で料亭を経営する和久傳が創業地に創った和久傳の森と安藤忠雄設計の美術館安野光雅館を見学して、工房レストラン wakuden MORI で美味しいディナーを頂きました。大勢の会員、ご家族、そして奨学生の皆さまにご参加いただいた楽しい職場見学会・秋の家族会でした。

年が明けた1月18日に、職業奉仕フォーラム「職業奉仕月間にちなんで」を企画しました。地区職業奉仕委員会の神寶敏夫副委員長はあいにくご欠席となりましたが、武枝敏之委員に卓話をしていただいて「人づくりは自分づくりの支援の場」と締めくくっていただきました。さらに、職業奉仕フォーラムで卓話を基調講演としてディスカッションを深めることを予定していましたが、残念なことに COVID-19 感染症の第6波のために中止となってしまいました。

3) 社会奉仕委員会

委員長 武枝 敏之

毎年行われる「社会を明るくする運動」のティッシュペーパー配りのお手伝いは、本年も中止でした。社会奉仕フォーラムも中止になり、本年もコロナ禍の影響がクラブ奉仕活動にも大きく影響されました。そのような状況においても、子供食堂を支援する活動を継続できたことがよかったです。岩本年度に、豊中市社会福祉協議会を通じてお米1トンの寄付に続き本年も米1トンとレトルトカレー1000食分を、社会福祉協議会を通じて、市内の子ども食堂及び コロナ禍で困窮する留学生の支援に充てました。これは、青少年奉仕委員会との連携の形で行われました。その実施につきましては、小川幹事のお力添えのたまものです。

地区主催の献血の啓発活動の支援につきましては、2022年2月6日(日曜日)、国際ロータリー第2660地区ローターアクトクラブ「地区献血」として、大阪近郊5箇所での献血の啓発活動が茨木市のイオンモールで実施され、それに参加しました。

留学生支援につきましては、宮田会員を中心に、奨学金支給以外に、日本での様々な体験を経験していただき、日本の理解を深める手助けが出来ているように思われました。

今後ともさらに多くの会員が留学生支援に協力いただけるようお願いします。

留学生支援委員会

委員長 畑田 耕一

豊中RCの奨学生制度は二年前に大きく見直され、会費納入時と共に会員一人当たり年間2万円をご寄付頂けることとなりました。それと、今年度は個人からの多額のご寄付もありました。次年度においても、個人寄付は継続頂けるようですので感謝いたします。

留学生支援委員会へのご協力、誠にありがとうございました。

4) 国際奉仕委員会

委員長 小寺 潤一

今年度国際奉仕委員会は、ロータリー財団の補助金プロジェクトとして承認いただいたGG2093716と申請中のGG2123900(これらは同じタイ国 スラータニ州 バンナサン病院に対するプロジェクト)の現地調査を行いたいと思いましたがコロナ禍の影響のため実施出来ませんでした。次年度以降、機会があれば是非訪問いただきたいと思います。

また、2月の国際奉仕フォーラムも中止となりましたが、それに代わるものとしてリモート談話室で時間をいただき『豊中ロータリークラブの国際奉仕』の過去の話をおの知っている範囲で話させていただき、これからの方向性について皆様の貴重なご意見をいただきました。そして、新しいプロジェクトGG236914の申請準備に入っております。

また、例会再開後の4月に卓話の時間をいただき、『談話室』での話を要約して話させていただきました。私は現地を訪問した際には、現地に行きたくても色々な事情で行けないメンバーのために出来るだけその様子を共有出来るように報告してまいりました。

是非今後も続けていただきたいと思います。

①カウンセラー

会長、会長エレクト、直前会長、幹事、五大奉仕委員長で構成

豊中RCの国際奉仕活動の一つとして、豊中RC留学生や米山奨学生との親睦を図り、異文化理解と国際交流を深めました。活動は、ロータリーの心を通しての、ロータリアンとの親睦が特徴であり、五大奉仕活動と密接に関係しています。さらに、有志会員による、個性的な交流活動(茶話会、食事会、会員宅招待、ハイキング、観劇など)を促進しました。

会長、会長エレクト、直前会長は、活動全般の責任者になり、地区補助金申請の署名を行いました。

幹事は、有志会員による個性的な交流活動の窓口になり、留学生や会員への広報を担いました。クラブ奉仕委員長は、例会や家族会に関し、出欠席、役割分担、卓話などに関与しました。職業奉仕委員長は、秋の職場見学・家族会の行事で、留学生との交流を深めました。社会奉仕委員長は、地区の社会奉仕活動と連携し、第2660地区補助金を獲得しました。国際奉仕委員長は、豊中RCや第2660地区の国際奉仕活動との連携を深めました。青少年奉仕委員長は、秋春のRYLAへの参加を促しましたが、コロナ禍で困難でした。

留学生支援収支報告書

2021年7月1日～2022年6月30日

(単位:円)

(収入の部)		
前年度繰越金	807,695	留学生基金
地区補助金*	363,330	Mamahit君
一般会計より受入金	740,000	2万円×37名
奉仕会計より受入金	300,000	年度により変動
特別寄付(宮田会員)	240,000	継続予定
受取利息	8	
収入計	2,451,033	
(支出の部)		
留学生へ奨学金	1,440,000	一人毎月6万円
交通費、食事費、雑費	87,121	
支出計	1,527,121	
次年度繰越金	923,912	留学生基金

*クラブ拠出金 364,000円

5) 青少年奉仕委員会

委員長 吉川 秀樹

昨年度に引き続き、コロナ禍の影響により、教育フォーラム、青少年フォーラムが中止となりました。感染症蔓延の中での青少年への奉仕活動の困難さを実感しました。その中で、8月28日(土)には、国際ロータリー第2660地区のクラブ青少年奉仕合同委員長会議(Zoom開催)に参加し、情報収集を行いました。また、社会奉仕委員会との連携活動として、社会福祉協議会に対し、子供食堂へのレトルトカレー寄贈を行いました。次年度は、コロナ感染症が収束し、青少年奉仕活動が、より活発に行われますことを祈っています。

教育問題検討委員会

委員長 畑田 耕一

昨年度に引き続き教育フォーラムは中止となりました。誠に残念ではありますが次年度に希望を持ちたいと思います。

出前授業についても、開催がなかなか難しい状況であったが、教育委員会からの強い要望もあり、次年度は徐々に再開していこうと思います。

皆様のご協力に感謝いたします。

6) R財団委員会

委員長 岩本 洋子

ロータリー財団は、ロータリアンとして

- (1) 財団に寄付をすること
- (2) 財団の資金を利用して奉仕をすること

この双方向です。

豊中ロータリーは、ロータリー財団への年次寄付1人150ドルを会費の徴収の時に、少し上乘せして1人160ドルを徴収させて頂くという方法で、自然に寄付を集めています。コロナ禍で例会が思うように開催できなかった昨年度も、この方法により上手に寄付が達成できました。

もうひとつの、財団の資金を利用して奉仕をすることも、社会奉仕委員会と国際奉仕委員会のご尽力により、達成できました。

- (1) 大阪大学に留学してくる外国人留学生に1ヶ月6万円の奨学金を支給できました。ロータリー財団から2660地区に配分されたDDF資金の利用です。
- (2) タイ国シーロムロータリークラブとバンナサンロータリークラブと協力して、ロータリー財団と2660地区補助金を頂き、豊中ロータリークラブの資金約7,273ドル(1ドル130円換算で94万5,490円)によって、タイ国で57,500ドル(同747万5,000円)の医療機器の寄付奉仕ができました。

ありがとうございました。

7) 米山奨学委員会

委員長 原 和永

2021年度は「パストラ・スミタさん」の支援を行いました。

10月にはスミタさんの卓話を行い、日本とネパールの架け橋となることを目指すスミタさんのお話を聴かせて頂きました。

会員の皆様に、米山奨学会へのお一人年間30,000円の寄付金をお願いしました。

2022年度も引き続き、「パストラ・スミタさん」のご支援を宜しく願います。

8) クラブ史編集委員会

委員長 木村 正治

ロータリー活動の原点としての例会への出席を強調の森本会長のもと、新年度は始まったが担当予定のロータリーデー(2022年3月)はコロナ禍の先行き不安定のため中止、しかも再び大阪府に緊急事態宣言に続いて蔓延防止等重点措置が施行されたため、この一年間に12回もの例会が中止を余儀なくされた。しかし幸いなことに、秋の職場見学・家族会、年末家族会、春の家族会は実施された。前述のように例会の休会は余儀なくされたが、週報は欠くことなく発行され予定卓話・会員への通知(行事その他)の他森本会長は「会長の時間」、北村副会長の「Zoom談話室」を通して参加の会長・副会長・小川幹事・米田SAA・他理事・会員諸氏のクラブ運営に対するご努力の経過が記されていた。

2022年度に大阪のロータリー100周年を迎えるにあたり、その記念誌編集委員会へ森本会長・小川幹事・畑田会員とともに当委員会は「クラブの歩みについて」の原稿を送付しました。

以上でこの一年を締めくくるところ5月23日夜突然森本会長が病に倒れられ6月26日薬石効なく鬼籍に入られた。私たちクラブへの偉大な業績に感謝を捧げるとともにご冥福をお祈り申し上げます。

昨年10月16日大島一郎氏、今年4月30日福田弘氏(ご両人は元会員)が亡くなりましたことをお知らせいたします。

10) 未来計画委員会

委員長 岩本 洋子

昨年はコロナ禍による例会の休会、森本会長のご病気、そしてご逝去と、未来計画委員会を開催する時間も余裕も全くありませんでした。本当に残念に思っています。

ただ、会員の減少をなんとかしないといけないという思いはクラブメンバーが全員持っています。この点を次年度につなげていきます。

11) SAA

委員長 米田 眞

2019年の末から2022年にかけて新型コロナ感染症が続き例会の休会が数多く有り普通の例会を行う事が出来ませんでした。

次年度は豊中ロータリークラブの標語・国歌斉唱・唱歌を行える様に望みます。



前年度(2021～22年度)

会 計 報 告

(付)

収支計算書 (一般会計)

収支計算書 (奉仕会計)

財産目録

会計監査

豊中ロータリークラブ

一般会計（2021－22年度）

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算	実績	備考
1. 前期繰越金	2,147,637	2,147,637	
2. 通常会費	11,100,000	11,025,000	
3. 来客登録料	36,000	21,000	
4. 入会金	400,000	0	
5. 雑収入	2,331,925	2,421,952	
合 計	16,015,562	15,615,589	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	予算	実績	備考
1. RI人頭分担金	298,023	303,600	
2. 地区運営・活動資金			
・ 地区運営資金	370,000	370,000	
・ 地区活動資金	333,000	259,000	
・ 地区大会資金	185,000	185,000	
3. 地区大会登録料	185,000	185,000	
4. R財団年次寄付（160ドル）	680,800	663,480	
5. R財団ポリオ寄付（60ドル）	255,300	253,080	
6. R財団クラブ寄付	63,825	63,270	
7. 米山普通寄付（6000円）	222,000	222,000	
8. 地区協議会運営分担金	110,000	90,000	
9. IM1組ロータリーデー分担金	185,000	0	
10. IM1組会長・幹事会	64,000	20,440	
11. ロータリーの友	116,160	98,120	
12. ロータリー手帳	3,000	4,137	
13. 例会食費	3,759,200	2,916,710	
14. 会合費	400,000	107,690	
15. 人件費	1,140,000	1,140,000	
16. 外注費	2,275,000	2,335,000	
17. 借室料	984,000	971,195	
18. 通信費	223,000	198,877	
19. 什器備品	30,000	152,669	
20. 消耗品	300,000	209,807	
21. 交際費	200,000	79,642	
22. コピー機リース料	142,992	14,960	
23. 諸雑費	240,000	219,524	
24. 奉仕活動助成金	700,000	700,000	
25. 留学生基金	740,000	740,000	
26. 周年記念行事積立金	200,000	200,000	
27. 事務局慰労金	100,000	100,000	
28. 予備費	1,560,262	0	
29. 次年度繰越金		2,812,388	
合 計	16,065,562	15,615,589	

奉仕会計（2021－22年度）

【収入の部】

（単位：円）

科 目	予算	実績	備考
1. 前期繰越金	2,481,633	2,481,633	
2. ニコニコ箱寄付金	2,500,000	2,525,000	
3. 一般会計より受け入れ金	700,000	700,000	
4. 留学生基金から受け入れ	740,000	1,527,121	
5. 受取利息	13	12	
合 計	6,421,646	7,233,766	

【支出の部】

（単位：円）

委 員 会	予算	実績	備考
1. クラブ奉仕委員会	320,000	252,517	
2. 親睦委員会	900,000	984,195	
・ 唱歌（ピアノ伴奏料）	314,000	249,100	
・ 出席	80,000	20,000	
3. 雑誌・広報・会報委員会	60,000	25,256	
4. 職業奉仕委員会	150,000	143,520	
5. 社会奉仕委員会	150,000	110,550	
社会奉仕（留学生支援金）	740,000	1,527,121	
6. 国際奉仕委員会	800,000	1,314,748	
（サンマテオ）	10,000	2,498	
7. 青少年奉仕委員会	180,000	464,200	
（教育問題検討）	10,000	0	
8. R財団委員会	40,000	0	
9. 米山奨学委員会	10,000	10,000	
10. SAA費	450,000	288,499	
11. 留学生基金へ	300,000	300,000	
12. 特別事業準備金へ	100,000	100,000	
13. 受取利息	13	12	
14. 雑費		300	
15. 予備費	1,807,633	0	
16. 次年度繰越金		1,441,250	
合 計	6,421,646	7,233,766	

地区補助金

DG2021-S 社会奉仕 インドネシア人留学生支援	\$ 3397 (1ドル110円) 地区補助金 363,330円 クラブ拠出金 364,000円
GG2123900 国際奉仕 タイへの医療機器支援	\$ 11845 (1ドル111円) クラブ拠出金 1,314,748円

財 産 目 録

2022年6月30日 現在

(単位:円)

科 目	金	額
資 産 の 部		
普通預金		
三井住友信託銀行		
一般会計 No.0029993	2,812,388	
奉仕会計 No.0030037	1,441,250	
周年記念行事積立金 No.0030045	1,725,476	
事務局慰労金 No.0030002	1,136,232	
特別記念行事積立金 No.0030029	4,346,551	
留学生基金 No.0030010	923,912	
地区補助金 No.0031564	0	
	12,385,809	12,385,809
資 産 合 計		12,385,809
負 債 の 部		
未 払 金	0	0
預 り 金	0	0
負 債 合 計	0	0
正味財産額		12,385,809

会 計 監 査

当クラブ細則第10条・第2節に基づく、理事会の指名を受け、2021～2022の会計事務について慎重なる監査を行った結果、適正であると認めましたので、その旨報告いたします。

2022年 9月14日

会計監査

矢口正登



宮田幹二

